

怒涛

6月7日
第125号
本号4頁60円
1年間(24回開封・送料込) 1700円
発行所 東京都豊島区池袋 2-11-2 白石ビル 怒涛社
電話(982) 3312 8-147121 中川進
振替発行人 中川進

朴の準戦時的弾圧と敵対に抗し英雄的闘争強める

朝鮮人民の反朴、反日米帝闘争に呼応し、日韓定期閣僚会議反対闘争に決起せよ!

抵抗と解放のたたかいの歴史の伝統をもつ朝鮮人民は、日米帝闘争とそれと結託している朴反共軍事独裁政権に対する不屈の英雄的なたたかいを闘っている。

本年1月、朴政権が自らの独裁を維持強化するために、「維新体制」の信を問うものとしておこなった国民投票に対して、朝鮮人民は全有権者の約四割にものぼる棄権票、反対票を示し、朴の進めている反共軍事独裁に鋭い批判をあげた。これは我々の記憶にまだ新しいものである。朴は棄権呼びかけも含めた一切の反対運動を弾圧し、厳しい監視体制を敷いたにもかかわらず、この有様であった。

南朝鮮人民のこうした反朴闘争の巨大なたたかいは朴政権の独裁、南朝鮮人民の「改憲、民主回復」運動への弾圧に圧力をかけ、大統領緊急措置令違反をもつて逮捕拘留させられていた「民青学連事件」関係の多くの人々の釈放を求めた。

朴政権の不当な拘留から釈放された人々は、「自分の生命が続く限り、独裁政権と闘う」(金芝河氏)、「民主回復運動を行ない、もう一度憲法裁判所にはいる覚悟ができた」(金東吉延世大教授)と語り、自らの活動の正当性を堂々と主張し、反朴闘争を継続する決意を公然と明らかにした。またこれらの人々は民主回復闘争者協会を組織し、「民青学連事件、人民革命事件」をデッチ上げたKCIAを解体し、関連者を処罰せよ、改憲だけが民族の生きる道であり、良心的な民主勢力を支持する、などの闘争宣言をおこない、獄舎に繋がれている「人民革命事件」関係の人々の早期釈放をたたかいることを意志統一した(怒涛一九号)。

民と土地と資源を提供している張本人であることを身をもって確認してきている。南朝鮮人民は必ずや朴政権を打倒する日を迎えるだろう。そしてインドシナ人民の勝利は、彼らの闘いを根底からはげましていくのである。

朝鮮労働党、朝鮮民主主義人民共和国政府訪中代表団は四月二十六日北京で中朝共同声明を発表した。労働党、共和国政府は、この中で中朝両国が、政府とともに両者の戦闘的友誼を確認する次の諸点を明らかにした。

第一に共和国および中国の党と政府が「社会主義革命と社会主義建設」をおしすすめており、「世界人民の革命事業のために貢献する決意」を確認したこと。第二は「世界に帝国主義が存在している社会制度は戦争を醸成しつつある」として現情勢を規定し、「戦争が革命を起すか、革命が戦争を抑止するかにかかわらず、世界の前途は光明にあふれたものである」と帝国主義の戦争政策に対する革命戦争の勝利を明らかにし、第三に「われわれは長期にわたり植民地主義、帝国主義の圧迫と搾取にあつた第三世界国家、人民の民族独立のたたかいに注目し、「第三世界諸国人民は、すでに人類の歴史の前進を推し進める巨大な動力と偉大な反帝革命勢力になつていく」として、カンボジア、南ベトナム、ラオス、パレスチナ、アラブ、アフガニスタン、アメリカ人民の武装解放闘争に対する支持を確認し、支援をおこなうことを意志統一して迎えている。第四に、朝鮮に対しては労働党、政府は、①自主的②平和的③民族的な団結を唱へた南北共同声明を基本的におしすすめること、南北軍縮、多面的交流、連邦制、一国家創設など五方針を堅持することを明らかにし、これら一切を踏みにじつていく朴とそれを支援している米帝国主義に対する非難の態度を明らかにしている。

を堅持し、帝国主義のしかける戦争に抵抗する能力を備えつつ人民の民族解放のたたかいをおしすすめる決意を明らかにしている。南朝鮮人民は、南朝鮮人民に対しては、大きな支援と激励を与えている。わが委員会では、四南北共同声明を支持することを明らかにし、労働党、政府は、①自主的②平和的③民族的な団結を唱へた南北共同声明を基本的におしすすめること、南北軍縮、多面的交流、連邦制、一国家創設など五方針を堅持することを明らかにし、これら一切を踏みにじつていく朴とそれを支援している米帝国主義に対する非難の態度を明らかにしている。

労働党、共和国政府は帝国主義が存在する限り戦争を生み出すこと、緩和は一時的であり、戦争を準備するものではないことを主張し、現代を「戦争が革命を起すか革命が戦争を抑止する」時代として革命をおしすすめる態度をとり、実際に自らを武装し、「い、た、ん、南、朝鮮に革命が起れば、われわれは同一民族として、けつして手をこまねいて傍観することなく、積極的に南朝鮮人民を援助するであらう」(中国党、政府歓迎宴会での金日成主席のあいさつ)という態度をとっている。

朝鮮半島をめぐる情勢において、労働党、政府が中国党、政府と革命的団結を強め、武装

プロレタリア世界革命の旗の下
万国の労働者団結せよ!
労働者共産主義委員会

に恐怖し緊急措置九号を公布し一切の反朴政治集会、行動を禁止し、金持の財産国外逃避をも禁止した。

これらは全、朴政権の支配の不安定さ、動揺を示すものであり首相金鐘泌が「あと五、六年は民主主義を制限しなければならぬ」とうそをいっているように朴政権の政治的経済的基盤の弱さを反映している。

朴政権は「北からの脅威」を宣伝し、「戦争体制」を主張し、労働人民からの搾取と収奪を強め、生活苦を強要している。朴政権は(〇)万の軍隊を動かす、それを維持するために日米帝闘争からの経済援助を期待している。そしてまた、日米帝闘争に対して韓国への経済侵略を促し、韓国の人民の労働力、土地、資源の略奪を許しそれを重工業工業優先の高度経済成長と「国民総生産」の向上をはかる、と叫んでいる。

朴政権のこうした政策によって、南朝鮮労働者は外国企業における労働組合の結成を禁止され、低賃金と民族的差別、劣悪な労働条件において高麗大の一時休校を強行するなどの弾圧は過酷さをますます強めている。さらにインドシナ情勢

らにたたかいて、打倒されたロンゾルやチン政権に自らの将来の姿を見せつけられ、孤立し、恐怖を感ぜている。朴政権はベトナム、カンボジアでの民族解放闘争の高まりに対する民間人を装ったたり込みなどをおこなってきた。また大統領緊急措置七号を発動し、釈放された学生の復学を要求していた高麗大を軍隊で弾圧し高麗大の一時休校を強行するなどの弾圧は過酷さをますます強めている。さらにインドシナ情勢

が奨励されたりするなど、南朝鮮人民の差別が公然と奨励される状況もつくり出されている。

日米帝闘争はこうした朴政権を支援することを四月の外相会議の席上合意した(怒涛一二三号)。米帝闘争はフォードの訪韓、国防報告、大統領外交教書などの中で米朝相互防衛条約の堅持、在韓米軍の維持を強調し、沖繩米軍基地を韓国「防衛」の直接の後方支援拠点にすることを表明している。日本政府は日米共同声明の「韓国条項」を再度確認し、朴政権の「防衛」のために直接的な責任を負う決意を明らかにしている。

日本政府は朴政権に対し日韓関係の「環境改善」などを主張しつつ、二月の日本人二君の釈放を契機にして援助を拡大する方向を示し四月には四九年度分のものとして三四億円の援助をおこなっている。日韓両国政府は五月金鐘泌の来日に際して三本との間で首脳会議をおこなった。

在日韓国人の団体は日帝の朴政権への経済援助に反対し、金鐘泌の来日に反対するたたかいをおこなった。

日帝は援助と引きかえに、朴政権による南朝鮮人民の抑圧を、日本企業への韓国での搾取の保障を要求し、日韓大陸棚協定を策定する、南朝鮮の資源を略取する意図をもっている。

これらの日帝と朴政権の人民抑圧、利権確保の野望が長期にわたって決起せよ。

に恐怖し緊急措置九号を公布し一切の反朴政治集会、行動を禁止し、金持の財産国外逃避をも禁止した。

これらは全、朴政権の支配の不安定さ、動揺を示すものであり首相金鐘泌が「あと五、六年は民主主義を制限しなければならぬ」とうそをいっているように朴政権の政治的経済的基盤の弱さを反映している。

朴政権は「北からの脅威」を宣伝し、「戦争体制」を主張し、労働人民からの搾取と収奪を強め、生活苦を強要している。朴政権は(〇)万の軍隊を動かす、それを維持するために日米帝闘争からの経済援助を期待している。そしてまた、日米帝闘争に対して韓国への経済侵略を促し、韓国の人民の労働力、土地、資源の略奪を許しそれを重工業工業優先の高度経済成長と「国民総生産」の向上をはかる、と叫んでいる。

朴政権のこうした政策によって、南朝鮮労働者は外国企業における労働組合の結成を禁止され、低賃金と民族的差別、劣悪な労働条件において高麗大の一時休校を強行するなどの弾圧は過酷さをますます強めている。さらにインドシナ情勢

が奨励されたりするなど、南朝鮮人民の差別が公然と奨励される状況もつくり出されている。

日米帝闘争はこうした朴政権を支援することを四月の外相会議の席上合意した(怒涛一二三号)。米帝闘争はフォードの訪韓、国防報告、大統領外交教書などの中で米朝相互防衛条約の堅持、在韓米軍の維持を強調し、沖繩米軍基地を韓国「防衛」の直接の後方支援拠点にすることを表明している。日本政府は日米共同声明の「韓国条項」を再度確認し、朴政権の「防衛」のために直接的な責任を負う決意を明らかにしている。

日本政府は朴政権に対し日韓関係の「環境改善」などを主張しつつ、二月の日本人二君の釈放を契機にして援助を拡大する方向を示し四月には四九年度分のものとして三四億円の援助をおこなっている。日韓両国政府は五月金鐘泌の来日に際して三本との間で首脳会議をおこなった。

在日韓国人の団体は日帝の朴政権への経済援助に反対し、金鐘泌の来日に反対するたたかいをおこなった。

日帝は援助と引きかえに、朴政権による南朝鮮人民の抑圧を、日本企業への韓国での搾取の保障を要求し、日韓大陸棚協定を策定する、南朝鮮の資源を略取する意図をもっている。

これらの日帝と朴政権の人民抑圧、利権確保の野望が長期にわたって決起せよ。



5. 15闘争圧倒的に闘われる!

五・一五闘争は、東京では、芝公園に千二百名が結集し、戦闘的な集会、デモとしてかたち取られた。

集会は、実行委からの基調提題のあと、まず関東沖繩同進国会決議を採択し、沖繩米軍基地の撤去を要求する。この間の闘いの経過と基本的な方向性、闘いの決意が述べられた。

続いて、三里塚、労働者諸団体、沖繩CTSを考案する会などからのアピールと発言があり、

五・一五皇太子訪沖阻止、海洋博粉砕闘争 戦闘的労働者人民千二百が決起

最後にローガンと、沖繩海洋博粉砕、皇太子訪沖阻止の一大決起を訴える集会宣言を確立し、さらに、政府、官庁にに対する抗議文を確立して、デモに移った。

芝公園から都心、銀座、坂本町公園へかけてのデモでは、官憲の規制をはねかえし、夜空をゆるがす戦闘的デモを闘い抜き、更なる闘いの展開を示した。

CTS反対闘争の前進、日共による分裂策動、また、七月一日に予定されている海洋博開

日韓米反革命体制粉砕、
I 沖繩米軍基地撤去、
II 日本独占資本による土地買占めと農漁の破壊を許さず、
III 沖繩労働者への首切り・合理化を許さず、
IV 皇太子・皇族訪沖阻止、
V 沖繩人民への「皇民化」同化攻撃粉砕、
VI 日米共同反革命軍事基地撤去、
VII 日本軍(自衛隊)派兵駐留粉砕、
VIII 労働者への大量首切り合理化粉砕、
IX 基地機能の強化、米軍演習を打ち壊せよ、
X 日沖労働者人民の兄弟的団結をかちとらう、

集会・闘争短報

五・二九リッダ闘争三周年国際連帯集会
五月二九日午後六時
於、千駄谷区民会館
主催・集会実行委
十一月一八闘争初公判
六月五日午前十時東京地裁

今「春闘」の問題点

労資協調的指導部に対決し 強固な戦闘的団結を!

昨年「七四春闘」以後、政府、独占資本は、「賃金が上がれば物価が上がる」とか「会社がつぶれてしまえば、もともともない」などと脅かして、大がかりな賃金抑制キャンペーンを、日本経営者団体連盟(会長松田)は「大幅賃上げの行方研究会」なるものを設置してそこにおいて十五%以下のガイドラインを決めるなど、「七五春闘」の昂揚を恐るるあまり、労働者人民に対するしめつけを強化してきたわけである。そしてますます激化する不況と物価高に苦しむ労働者を先頭とする

人民が、「七五春闘」の組織化を始めるやいなや政府、自民党は、「七四春闘」において断平としてストライキを貫徹した先進的労働者の「二期処分」なる方針を打ち出して、労働者人民の団結を破壊せんとした。このとき、民社党と同盟指導部が積極的に「二期処分」を支持したことを決して忘れてはならない。また一方で、下部労働者の戦闘的行動を突き上げを恐れて終始動揺しつづける労働貴族どもを抱き込み、いみじくも英国女王伊丽莎白を新幹線に乗せしめていくものごとく、

いきり立ち階級協調的意識をおりスト中止を要求したりした官公、民間大手組合は取返せられ、その後も一部の中小企業において闘われていた「七五春闘」をブルジョアマスコミは「押し切られた労働側」などと評している。これは「七五春闘」において指導部が妥協した結果であるがプロレタリアート、人民はさらに戦闘的団結を求め、今「春闘」においての問題点をはっきり把握し、今後の教訓としていかなければならない。そもそも労働者人民の怒りと組織力を自らの地位の安定た

めに利用しようとする総評、同盟、IMF・JC等の指導部と社共をはじめとする改良主義者、会主義者たちは、統一地方選においての一票を獲得するために「やむを得ず、今「春闘」を戦術的にも正しく指導できなかった。もともとも彼らにできるわけもないのだ。

「七五春闘」に際して、総評、中立労連の春闘指導部は三〇% (四万円以上) の賃上げを要求し、「労組の社会的責任」とか「労組エゴを抑える」などと主張してはばからない同盟とIMF・JC (国際金属労連) 本協議会はそれぞれ七% (定昇込み)、一五% という基準を決めた。七日以後労働者人民がストに突入すると、闘争破壊を目論む政府は、「早くストをやめさせる」ために、中労委、公労委をたぐみに利用し、勿論中労委にしろ公労委にしろ支配階級の意のままになる代りであると同時に、労資協調主義者にとっては「たのみ綱」であることである。引上げ率一四・一% (平均一七千二百円) という驚くほど低額な回答を出さされた。この額でさえ三木

政府は「不満」などほざいて芝居まで演じてみせたのである。また「一五%のガイドライン突破」を目標としてかかげた総評指導部などは、中労委のあつせんが不調に終るやいなや「一七千円を調停の出発点」(事務局長大木) と公労委にお願いするありさまであった。大木は「春闘」が一段落した時点で「労働戦線の統一が新しい角度から問題になる時期が来た」と述べているが、問題なのは指導部の労資協調主義的態度、傾向であり、今や先進的、戦闘的労働者からそれが粉砕される「時期が来た」のである。

消費財物価の騰貴が続いているとき賃金を一四・一%引き上げたからと言って労働者人民の生活が安くなるわけでは決してない。むしろ全くその反対なのだ。政府が策動しているたばこ、郵便料金などの公共料金の値上げは依然として強行されようとしており、また企業の七

五月十三日は、無実の石川一雄さんが別件逮捕されて十二日目にあたる。昨年十月三十一日、東京高等検察庁は「無期懲役」の判決を言い、石川さん、部落解放同盟および労働者、学生、市民の部落差別撤廃の闘いに、真正面から敵対してきている。十二日目の五月十三日を迎え、石川さん、部落差別撤廃の闘いに、真正面から敵対してきている。

五月十三日は、無実の石川一雄さんが別件逮捕されて十二日目にあたる。昨年十月三十一日、東京高等検察庁は「無期懲役」の判決を言い、石川さん、部落解放同盟および労働者、学生、市民の部落差別撤廃の闘いに、真正面から敵対してきている。十二日目の五月十三日を迎え、石川さん、部落差別撤廃の闘いに、真正面から敵対してきている。

五・二三別件逮捕十二周年にあたり 五・二〇 狭山差別裁判糾弾闘争

五月十三日は、無実の石川一雄さんが別件逮捕されて十二日目にあたる。昨年十月三十一日、東京高等検察庁は「無期懲役」の判決を言い、石川さん、部落解放同盟および労働者、学生、市民の部落差別撤廃の闘いに、真正面から敵対してきている。十二日目の五月十三日を迎え、石川さん、部落差別撤廃の闘いに、真正面から敵対してきている。

つづけている石川さん、部落解放同盟、労働者、学生、市民の闘いの意志を明白に表現しており、一審判決の不当性、デタラメさを暴露してきた裁判闘争過程を全く無視し、差別裁判糾弾の闘争を弾圧しようとするものである。このように支配階級の攻撃に対して、解放同盟は、「部落差別糾弾闘争に対する敵対を公然

と明らかにし、支配階級に媚を売っている。八鹿高校差別事件「橋のない川」上映運動など、一貫して部落差別の闘いに敵対し、部落民をはじめとする労働者人民の団結を破壊している。五月十三日を迎えるにあたり、支配階級の攻撃、日共の敵対をはねのけ、差別裁判糾弾の闘いを前進を打固めることが重要になっていく。

米軍が重大な 反人民のカンボジア攻撃

米帝国主義は、五月十四日から十五日にかけてマダガスカル島を攻撃し、カンボジアの艦隊を攻撃、撃沈させた。さらには、コロン島上陸、カンボジア本土のラム基地への爆撃などを行った。

この攻撃は、カンボジア政府によって、領海侵犯であり、マダガスカル島はスパイ行動を行ったものと非難されており、積荷を奪取したからと、軍事攻撃でなく自衛措置であるなどと称して、この米軍の行動は「安撫前協議の対象外」であるなどと主張している。しかし、この海兵隊の出撃が、直接戦闘行動であることは誰の目にも明らかであることであり、かかる主張を無視し、タイ政府の「主権を侵害し、米帝の反人民的性格を自らバクロした。米帝は、この軍事行動によって、アジアの反共政権からの信頼を回復した

労働者にとつて 『赤字公債』 発行の意味

地方自治体の「財政硬直化」とりわけ「革新自治体」における「財政硬直化」を地方選の「革新」攻撃宣伝に使った自民党が、自ら責任を請け負っている。国家財政の「開き」を以ての大ピンチ (高木大蔵事務次官) に陥っている。

一九七五年度の予算は当初「収支均衡」したものと編成されたものの、大蔵省歳入欠陥は免れることはできないことを示している。予想では、今年度の歳入は、昨年比で約一兆七千億円の増減が見込まれる。この増減は、昨年比で約一兆七千億円の増減が見込まれる。この増減は、昨年比で約一兆七千億円の増減が見込まれる。

歳入面では、一九七四年度 (三月) の歳入は、八千億円の増減が見込まれる。この増減は、昨年比で約一兆七千億円の増減が見込まれる。この増減は、昨年比で約一兆七千億円の増減が見込まれる。

歳入面では、一九七四年度 (三月) の歳入は、八千億円の増減が見込まれる。この増減は、昨年比で約一兆七千億円の増減が見込まれる。この増減は、昨年比で約一兆七千億円の増減が見込まれる。

なせなら、公債発行という国家的借金、体裁として国会の議決を通すことにより、その元利支払の担保は、人民の税金にわたるわけである。人民の税金にわたるわけである。人民の税金にわたるわけである。

なせなら、公債発行という国家的借金、体裁として国会の議決を通すことにより、その元利支払の担保は、人民の税金にわたるわけである。人民の税金にわたるわけである。人民の税金にわたるわけである。

なせなら、公債発行という国家的借金、体裁として国会の議決を通すことにより、その元利支払の担保は、人民の税金にわたるわけである。人民の税金にわたるわけである。人民の税金にわたるわけである。

四月十七日カンボジア民族解放戦士のブレンベン解放にひき続いて、四月二十日南ベトナム解放民族戦線の戦士達はサイゴンを解放した。また五月十一日、ラオス連合政府は米帝の援助の下にラオス愛国戦線の切り崩しに血道を上げていたサナニコン、チャンパクなど右派勢力が国外に逃出したことを受け、愛国戦線の指導力が圧倒的優位となったことを確認した。

インドシナ三国民の長期にわたる革命戦争は現代世界の政治的諸特徴を描き出した。第一にインドシナ三国民の長期にわたる革命戦争は米帝に対する戦争であったことである。米帝は戦後、人民の解放闘争を抑圧し、資本主義復興を遂げるチャンピオンとして世界に君臨した。戦後米軍を西欧、北アフリカ、極東諸国に駐留させ、直接人民の解放闘争を抑圧するとともに、世界の貨幣基金の約七割を集中した経済力をもって西欧、日本に米独占資本の利権を築きつつ資本主義の復興を促進し、独占資本を育成することによって抑圧機構を強化してきた。五〇年代には「冷戦体制」と称し、世界中に反革命を目的とした米軍基地の設置、米軍駐留をおこなってきた。

米帝によるインドシナ諸国民の抑圧支配の策動はフランス植民地主義者が敗北を確信した五四年ジュネーブ協定直後に本格化した。米帝はインドシナ民が帝国主義との間で一定の妥協をおこない武装を解いた間隙を縫って、南ベトナムのゴ・ジン・ジエムなど反動政権をそのかして解放闘争に参加したとみられる人民を次々逮捕、拷問、投獄、虐殺させ、反動政権の軍隊の訓練をほどこして来た。米帝は反動政権に経済援助を与え、米工業製品、余剰農産物の購入を義務付けるなどインドシナ諸国民の経済を米帝経済に従属させ、米独占資本の利権を築いて

インドシナ三国民の勝利万歳!!

【上】

「拒否戦線」のグループを先頭にして英雄的に革命戦争を続けているとされたのに対しては、右派ロンノルを支援し、クーデターを起させてインドシナにおける米帝の抑圧支配を拡大させた。しかしこれら米帝の政策は一方で人民の貧困、悲惨をつくり出し、広汎に革命戦争に参加する条件をつくり出した。米帝は、反動政権の軍隊を援助し、近代化させて殺傷力を高め、かつ米軍自身の基地を大規模に設置し、人民のたたかいは真正面から敵対してきた。米帝は最高時五十万人を越す米軍人の直接介入をおこなった。

しかし米帝のかかる策動は、インドシナ三国民の英雄的な闘いによって決定的な敗北をこうむったのである。米帝は戦後反革命のチャンピオンとして、反革命軍を世界に配置し、「不敗」をほこっていたが、今、インドシナ三国民の革命戦争によってその「神話」は完全にうちくたされた。これは今なお米帝の軍事的抑圧の下に各地で帝国主義、反動政権と闘っている労働人民を大いに鼓舞、激励している。

インドシナ三国民の革命戦争の勝利は第一に世界の革命的革命的グループの勝利の展望を明らかにした。米帝はインドシナ三国民の革命戦争が前進するにつれて、反革命のために全力を注いだ。インドシナ三国民の闘いは現代世界の革命戦争の趨勢を決めるものにおしあがれ、勝利をかちとった世界の各地で帝国主義、反動政権に対する闘いが引きつづいて展開されている。パレスチナ・アラブ人民は米帝の全面的支援を受けたイスラエルシオニストの暴虐、土地収奪に対して勇敢にたたかっている。彼らは米帝、ソ連、アラブ反動派、アラブブルジョア主義者によるイスラエルとの妥協、武装解除作に反対し、イスラエル打倒、パレスチナ全土武装解放、民主的パレスチナ建設をかけた武装闘争を堅持している

「拒否戦線」のグループを先頭にして英雄的に革命戦争を続けているとされたのに対しては、右派ロンノルを支援し、クーデターを起させてインドシナにおける米帝の抑圧支配を拡大させた。しかしこれら米帝の政策は一方で人民の貧困、悲惨をつくり出し、広汎に革命戦争に参加する条件をつくり出した。米帝は、反動政権の軍隊を援助し、近代化させて殺傷力を高め、かつ米軍自身の基地を大規模に設置し、人民のたたかいは真正面から敵対してきた。米帝は最高時五十万人を越す米軍人の直接介入をおこなった。

「拒否戦線」のグループを先頭にして英雄的に革命戦争を続けているとされたのに対しては、右派ロンノルを支援し、クーデターを起させてインドシナにおける米帝の抑圧支配を拡大させた。しかしこれら米帝の政策は一方で人民の貧困、悲惨をつくり出し、広汎に革命戦争に参加する条件をつくり出した。米帝は、反動政権の軍隊を援助し、近代化させて殺傷力を高め、かつ米軍自身の基地を大規模に設置し、人民のたたかいは真正面から敵対してきた。米帝は最高時五十万人を越す米軍人の直接介入をおこなった。

しかし米帝のかかる策動は、インドシナ三国民の英雄的な闘いによって決定的な敗北をこうむったのである。米帝は戦後反革命のチャンピオンとして、反革命軍を世界に配置し、「不敗」をほこっていたが、今、インドシナ三国民の革命戦争によってその「神話」は完全にうちくたされた。これは今なお米帝の軍事的抑圧の下に各地で帝国主義、反動政権と闘っている労働人民を大いに鼓舞、激励している。

インドシナ三国民の革命戦争の勝利は第一に世界の革命的革命的グループの勝利の展望を明らかにした。米帝はインドシナ三国民の革命戦争が前進するにつれて、反革命のために全力を注いだ。インドシナ三国民の闘いは現代世界の革命戦争の趨勢を決めるものにおしあがれ、勝利をかちとった世界の各地で帝国主義、反動政権に対する闘いが引きつづいて展開されている。パレスチナ・アラブ人民は米帝の全面的支援を受けたイスラエルシオニストの暴虐、土地収奪に対して勇敢にたたかっている。彼らは米帝、ソ連、アラブ反動派、アラブブルジョア主義者によるイスラエルとの妥協、武装解除作に反対し、イスラエル打倒、パレスチナ全土武装解放、民主的パレスチナ建設をかけた武装闘争を堅持している

「拒否戦線」のグループを先頭にして英雄的に革命戦争を続けているとされたのに対しては、右派ロンノルを支援し、クーデターを起させてインドシナにおける米帝の抑圧支配を拡大させた。しかしこれら米帝の政策は一方で人民の貧困、悲惨をつくり出し、広汎に革命戦争に参加する条件をつくり出した。米帝は、反動政権の軍隊を援助し、近代化させて殺傷力を高め、かつ米軍自身の基地を大規模に設置し、人民のたたかいは真正面から敵対してきた。米帝は最高時五十万人を越す米軍人の直接介入をおこなった。

「拒否戦線」のグループを先頭にして英雄的に革命戦争を続けているとされたのに対しては、右派ロンノルを支援し、クーデターを起させてインドシナにおける米帝の抑圧支配を拡大させた。しかしこれら米帝の政策は一方で人民の貧困、悲惨をつくり出し、広汎に革命戦争に参加する条件をつくり出した。米帝は、反動政権の軍隊を援助し、近代化させて殺傷力を高め、かつ米軍自身の基地を大規模に設置し、人民のたたかいは真正面から敵対してきた。米帝は最高時五十万人を越す米軍人の直接介入をおこなった。

しかし米帝のかかる策動は、インドシナ三国民の英雄的な闘いによって決定的な敗北をこうむったのである。米帝は戦後反革命のチャンピオンとして、反革命軍を世界に配置し、「不敗」をほこっていたが、今、インドシナ三国民の革命戦争によってその「神話」は完全にうちくたされた。これは今なお米帝の軍事的抑圧の下に各地で帝国主義、反動政権と闘っている労働人民を大いに鼓舞、激励している。

インドシナ三国民の革命戦争の勝利は第一に世界の革命的革命的グループの勝利の展望を明らかにした。米帝はインドシナ三国民の革命戦争が前進するにつれて、反革命のために全力を注いだ。インドシナ三国民の闘いは現代世界の革命戦争の趨勢を決めるものにおしあがれ、勝利をかちとった世界の各地で帝国主義、反動政権に対する闘いが引きつづいて展開されている。パレスチナ・アラブ人民は米帝の全面的支援を受けたイスラエルシオニストの暴虐、土地収奪に対して勇敢にたたかっている。彼らは米帝、ソ連、アラブ反動派、アラブブルジョア主義者によるイスラエルとの妥協、武装解除作に反対し、イスラエル打倒、パレスチナ全土武装解放、民主的パレスチナ建設をかけた武装闘争を堅持している

「拒否戦線」のグループを先頭にして英雄的に革命戦争を続けているとされたのに対しては、右派ロンノルを支援し、クーデターを起させてインドシナにおける米帝の抑圧支配を拡大させた。しかしこれら米帝の政策は一方で人民の貧困、悲惨をつくり出し、広汎に革命戦争に参加する条件をつくり出した。米帝は、反動政権の軍隊を援助し、近代化させて殺傷力を高め、かつ米軍自身の基地を大規模に設置し、人民のたたかいは真正面から敵対してきた。米帝は最高時五十万人を越す米軍人の直接介入をおこなった。

「拒否戦線」のグループを先頭にして英雄的に革命戦争を続けているとされたのに対しては、右派ロンノルを支援し、クーデターを起させてインドシナにおける米帝の抑圧支配を拡大させた。しかしこれら米帝の政策は一方で人民の貧困、悲惨をつくり出し、広汎に革命戦争に参加する条件をつくり出した。米帝は、反動政権の軍隊を援助し、近代化させて殺傷力を高め、かつ米軍自身の基地を大規模に設置し、人民のたたかいは真正面から敵対してきた。米帝は最高時五十万人を越す米軍人の直接介入をおこなった。

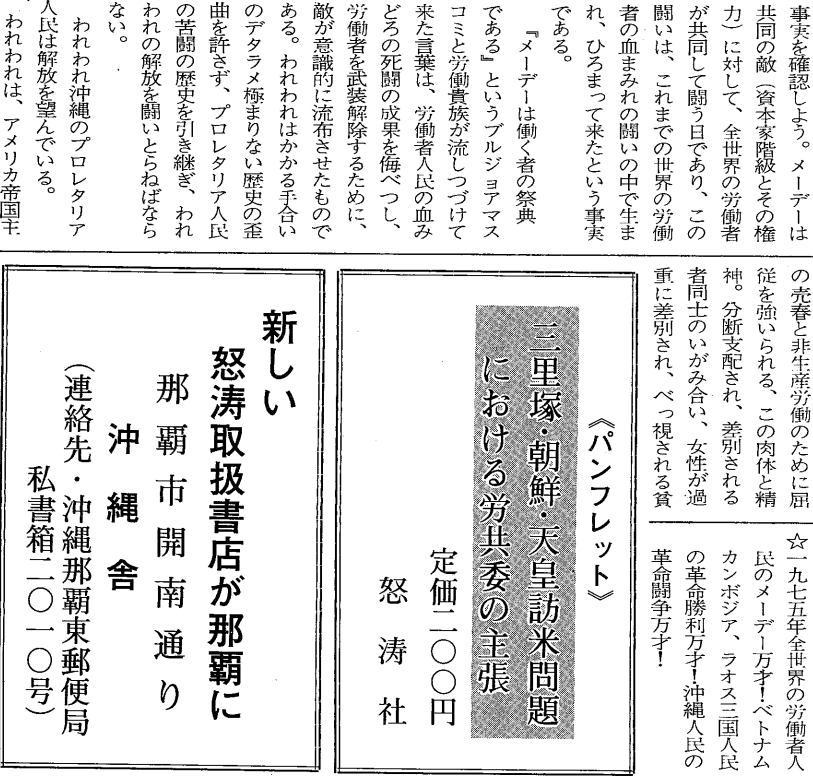
しかし米帝のかかる策動は、インドシナ三国民の英雄的な闘いによって決定的な敗北をこうむったのである。米帝は戦後反革命のチャンピオンとして、反革命軍を世界に配置し、「不敗」をほこっていたが、今、インドシナ三国民の革命戦争によってその「神話」は完全にうちくたされた。これは今なお米帝の軍事的抑圧の下に各地で帝国主義、反動政権と闘っている労働人民を大いに鼓舞、激励している。

インドシナ三国民の革命戦争の勝利は第一に世界の革命的革命的グループの勝利の展望を明らかにした。米帝はインドシナ三国民の革命戦争が前進するにつれて、反革命のために全力を注いだ。インドシナ三国民の闘いは現代世界の革命戦争の趨勢を決めるものにおしあがれ、勝利をかちとった世界の各地で帝国主義、反動政権に対する闘いが引きつづいて展開されている。パレスチナ・アラブ人民は米帝の全面的支援を受けたイスラエルシオニストの暴虐、土地収奪に対して勇敢にたたかっている。彼らは米帝、ソ連、アラブ反動派、アラブブルジョア主義者によるイスラエルとの妥協、武装解除作に反対し、イスラエル打倒、パレスチナ全土武装解放、民主的パレスチナ建設をかけた武装闘争を堅持している

「拒否戦線」のグループを先頭にして英雄的に革命戦争を続けているとされたのに対しては、右派ロンノルを支援し、クーデターを起させてインドシナにおける米帝の抑圧支配を拡大させた。しかしこれら米帝の政策は一方で人民の貧困、悲惨をつくり出し、広汎に革命戦争に参加する条件をつくり出した。米帝は、反動政権の軍隊を援助し、近代化させて殺傷力を高め、かつ米軍自身の基地を大規模に設置し、人民のたたかいは真正面から敵対してきた。米帝は最高時五十万人を越す米軍人の直接介入をおこなった。

しかし米帝のかかる策動は、インドシナ三国民の英雄的な闘いによって決定的な敗北をこうむったのである。米帝は戦後反革命のチャンピオンとして、反革命軍を世界に配置し、「不敗」をほこっていたが、今、インドシナ三国民の革命戦争によってその「神話」は完全にうちくたされた。これは今なお米帝の軍事的抑圧の下に各地で帝国主義、反動政権と闘っている労働人民を大いに鼓舞、激励している。

インドシナ三国民の革命戦争の勝利は第一に世界の革命的革命的グループの勝利の展望を明らかにした。米帝はインドシナ三国民の革命戦争が前進するにつれて、反革命のために全力を注いだ。インドシナ三国民の闘いは現代世界の革命戦争の趨勢を決めるものにおしあがれ、勝利をかちとった世界の各地で帝国主義、反動政権に対する闘いが引きつづいて展開されている。パレスチナ・アラブ人民は米帝の全面的支援を受けたイスラエルシオニストの暴虐、土地収奪に対して勇敢にたたかっている。彼らは米帝、ソ連、アラブ反動派、アラブブルジョア主義者によるイスラエルとの妥協、武装解除作に反対し、イスラエル打倒、パレスチナ全土武装解放、民主的パレスチナ建設をかけた武装闘争を堅持している



この現実をわれわれは、根底的に変革せんとしている。われわれには、既に生命以外に失うものはない。一握りの資本家階級とその権力に対して、革命的に闘い、プロレタリア人民の政治権力を打ち立てるために闘わなければならない。われわれは、この歴史に終止符を打たんと決意している。われわれはベトナム革命人民をはじめとするアジア諸国民の闘いに、いや応なしに敵対させられてきた負い目と屈辱の涙を、にえたぎる怒りにかえて敵におつけようとして、汗水流しても食ってゆけない貧しさ、病気になるまで救われることなく、金がないのに学校教育でも、文化的楽しみも、面も全てで差別され、さげすまれる不平等、住み慣れた島から部落から、親子兄弟、姉妹が生木をさくように引裂れ、「本土」に下層労働者として連行され、苛酷な条件下で搾取されるのみならず、島に残った「観光産業」という名の光榮と非生産労働のために屈辱を強いられる。この肉体和精神的、分断支配され、差別される者同士のいがみ合い、女性が過重に差別され、べつ視される貧

ミーデーに際して 沖繩での訴え 労共委

委員会はミーデーに際して沖繩では次掲載するビラを配布し、労働者人民と共にプロレタリア解放闘争に決起することを訴えました。一編稿馬

1975年ミーデーに決起した全ての労働者、友人、同志の皆さん！わが労働者共産主義委員会より熱烈な連帯のあいさつを送ります。

1975年5月1日、ベトナム、カンボジア、ラオスのインドシナ三国民が宿願の反米帝民族解放、革命戦争の勝利をかちとらんとしている今日、アメリカを旗頭とする帝国主義者とその軍隊に対する世界プロレタリア人民の解放闘争が歴史的飛躍！一大反攻期をむかえようとしている今日、全世界の億億のプロレタリア人民は、ミーデーに決起している。

(中略)

労働者、友人、同志の皆さん！75年ミーデーに際して先ず次の事実を確認しよう。ミーデーは共同の敵(資本家階級とその権力)に対して、全世界の労働者が共同して闘う日であり、この闘いは、これまでの世界の労働者の血まみれの闘いの中で生まれ、ひろまって来たという事実である。

「ミーデーは働く者の祭典である」というブルジョアマスコミと労働貴族が流しつけて来た言葉は、労働者人民の血みどろの死闘の成果を侮べし、労働者を武装解除するために、敵が意図的に流布させたものである。われわれはかかる手合いのデタラメ極まりない歴史の歪曲を許さず、プロレタリア人民の苦闘の歴史を引き継ぎ、われわれの解放を闘いとらねばならない。

われわれ沖繩のプロレタリア人民は解放を望んでいる。われわれは、アメリカ帝国主義と日本帝国主義による軍事支配、搾取、収奪、社会的抑圧と差別、議会制民主主義で装ったブルジョア独裁からの解放を望んでいる。

耐えがたい屈辱と犠牲と隷従の歴史に終止符を打たんと決意している。われわれはベトナム革命人民をはじめとするアジア諸国民の闘いに、いや応なしに敵対させられてきた負い目と屈辱の涙を、にえたぎる怒りにかえて敵におつけようとして、汗水流しても食ってゆけない貧しさ、病気になるまで救われることなく、金がないのに学校教育でも、文化的楽しみも、面も全てで差別され、さげすまれる不平等、住み慣れた島から部落から、親子兄弟、姉妹が生木をさくように引裂れ、「本土」に下層労働者として連行され、苛酷な条件下で搾取されるのみならず、島に残った「観光産業」という名の光榮と非生産労働のために屈辱を強いられる。この肉体和精神的、分断支配され、差別される者同士のいがみ合い、女性が過重に差別され、べつ視される貧

この現実をわれわれは、根底的に変革せんとしている。われわれには、既に生命以外に失うものはない。一握りの資本家階級とその権力に対して、革命的に闘い、プロレタリア人民の政治権力を打ち立てるために闘わなければならない。われわれは、この歴史に終止符を打たんと決意している。われわれはベトナム革命人民をはじめとするアジア諸国民の闘いに、いや応なしに敵対させられてきた負い目と屈辱の涙を、にえたぎる怒りにかえて敵におつけようとして、汗水流しても食ってゆけない貧しさ、病気になるまで救われることなく、金がないのに学校教育でも、文化的楽しみも、面も全てで差別され、さげすまれる不平等、住み慣れた島から部落から、親子兄弟、姉妹が生木をさくように引裂れ、「本土」に下層労働者として連行され、苛酷な条件下で搾取されるのみならず、島に残った「観光産業」という名の光榮と非生産労働のために屈辱を強いられる。この肉体和精神的、分断支配され、差別される者同士のいがみ合い、女性が過重に差別され、べつ視される貧

新しい 怒涛取扱書店が那覇に 那覇市開南通り 沖繩舎 (連絡先・沖繩那覇東郵便局 私書箱二〇一〇号)

三里塚・朝鮮・天皇訪米問題 における労共委の主張 定価二〇〇円 怒涛社